

みの~れは私より年下だけど先輩みたいな存在です



次亜塩素酸水配布スタッフ のぐちみづき 野口美月さん

「接客をする仕事が天職です」
と笑顔で話す野口さん

みの~れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.155

新型コロナウイルスの影響で巣ごもり生活が続きましたが、6月に入り少しずつ元の生活が出来るようになりました。水田に植えられた苗は緑が濃くなり、紫陽花の花が咲きだして雨の多い季節がやってきました。たわわに実った青梅をどのように加工しようか?『梅仕事』が忙しくなりそうですね!今回は次亜塩素酸水配布スタッフで小美玉市羽鳥地区にお住いの野口美月さん取材します。

みの~れの館内に次亜塩素酸水の配布コーナーがあり、2名のスタッフが対応しています。今のところ6月末までの予定ですが、配布が始まった頃は1日に40名から50名の方が、現在は落ち着いてきて30名から40名の方が利用されているそうです。野口さんは、「次亜塩素酸水はテーブルやドアノブを拭くのに使っていたので、1週間ごとに取りに来ていた」と感じています。

『次亜塩素酸水を無料配布している小美玉市ってすごいね!』って言われます。来ていただいた方との情報交換の場にもなっていて、接客が天職だと思っっている私にとって、とても良い仕事だと思っっています」と笑顔で話してくれました。(マスクは着用ですが・・・)

野口さんに趣味を聞いてみると、「本を読むのが好きです」と話してくれました。また、「ついこの間まで、会津若松に1年間くらいいました。雨が多いし、曇りの日が多いので日射量も少なくて寒い:体調を崩して小美玉に帰ってきて元気になりました。中学時代は演劇部でみの~れを利用してもらって、私は部活が心のよりどころだったので思い出深い場所です。本

ね。エッセイや雑誌を読みます。フイクションが好きで、最近では宮沢賢治の銀河鉄道の夜の短編小説を読んでいます。暗い雰囲気が多いのですが、星の話題が多くて、このコロナの時期でも星だけは自由に見られるなと思っ読んでいます。それから休みの日は散歩をしています。木陰があったり自動販売機があったり、けやき通りを歩いていると『ああ!帰って来たな』と感じますね」と話してくれました。

と話してきます。小美玉に戻って来て『小美玉っていいな!』と地元愛を感じていたところ、コロナの騒ぎで:でも、こうして皆様のお役に立てていることが幸せです。高校・短大はデザイン系の学科で、美野里中学校の演劇部でみの~れを使わせていただいた時に舞台芸術に興味を持って選んだ学科なので、この特技を活かして仕事ができたらいいなと思っしています。こうしてみの~れで人の役に立てることが嬉しいですよ」と素敵な笑顔で話してくれました。

(藤田佐知子)